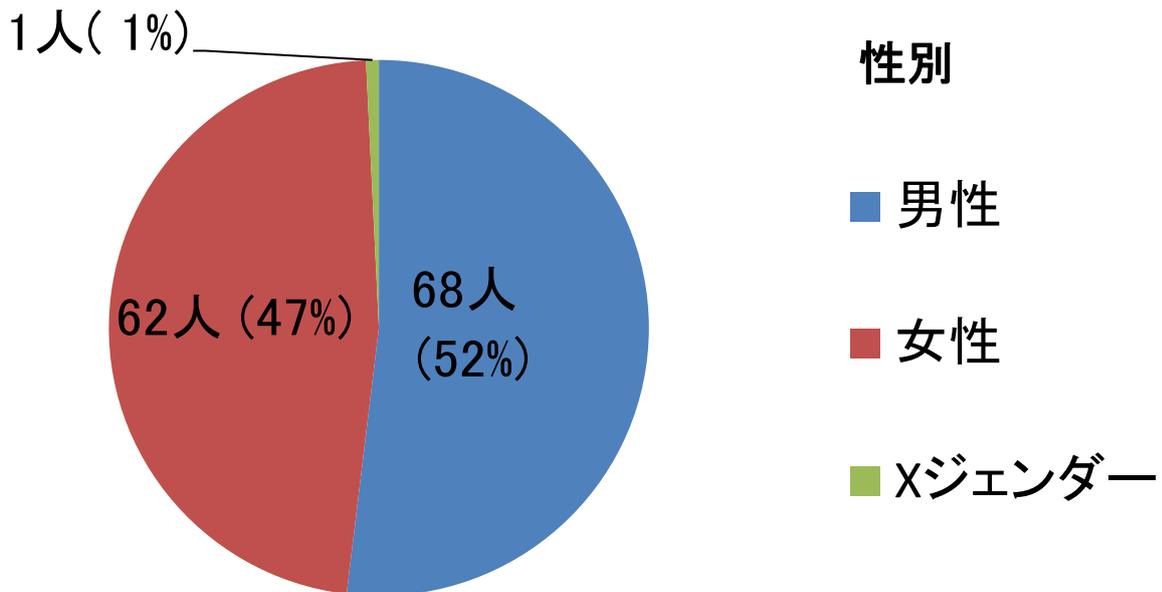


東京医大入試不正に関するアンケート結果報告

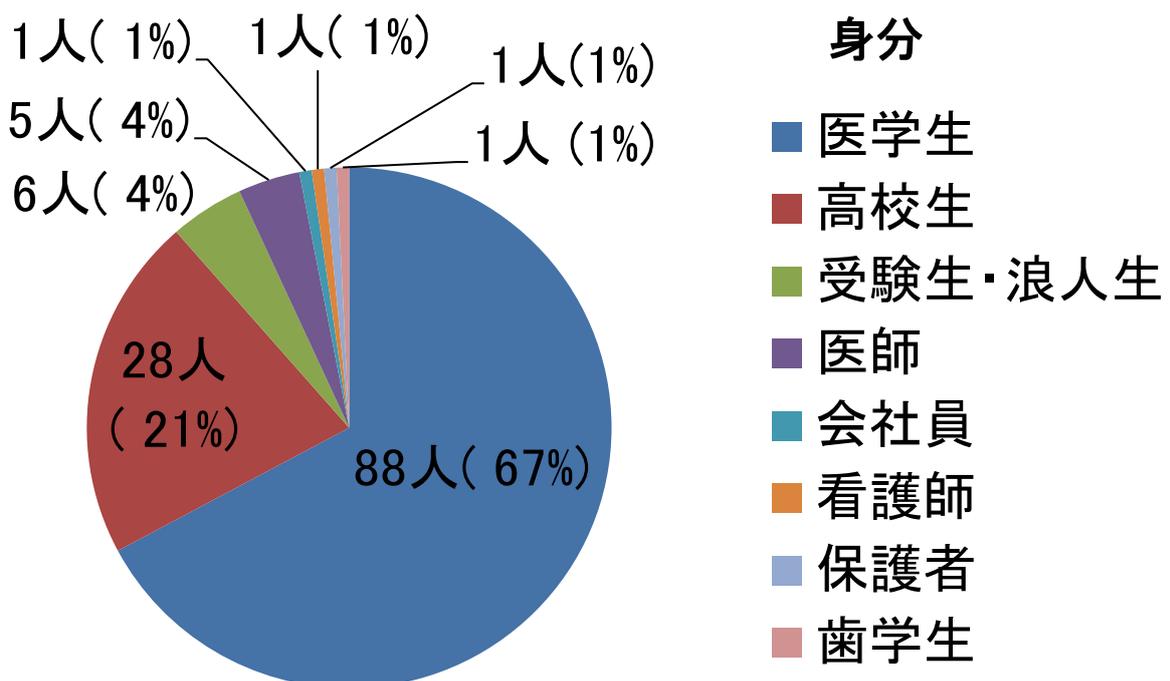
集計期間：2018年8月14日～8月26日

回答者数：131名

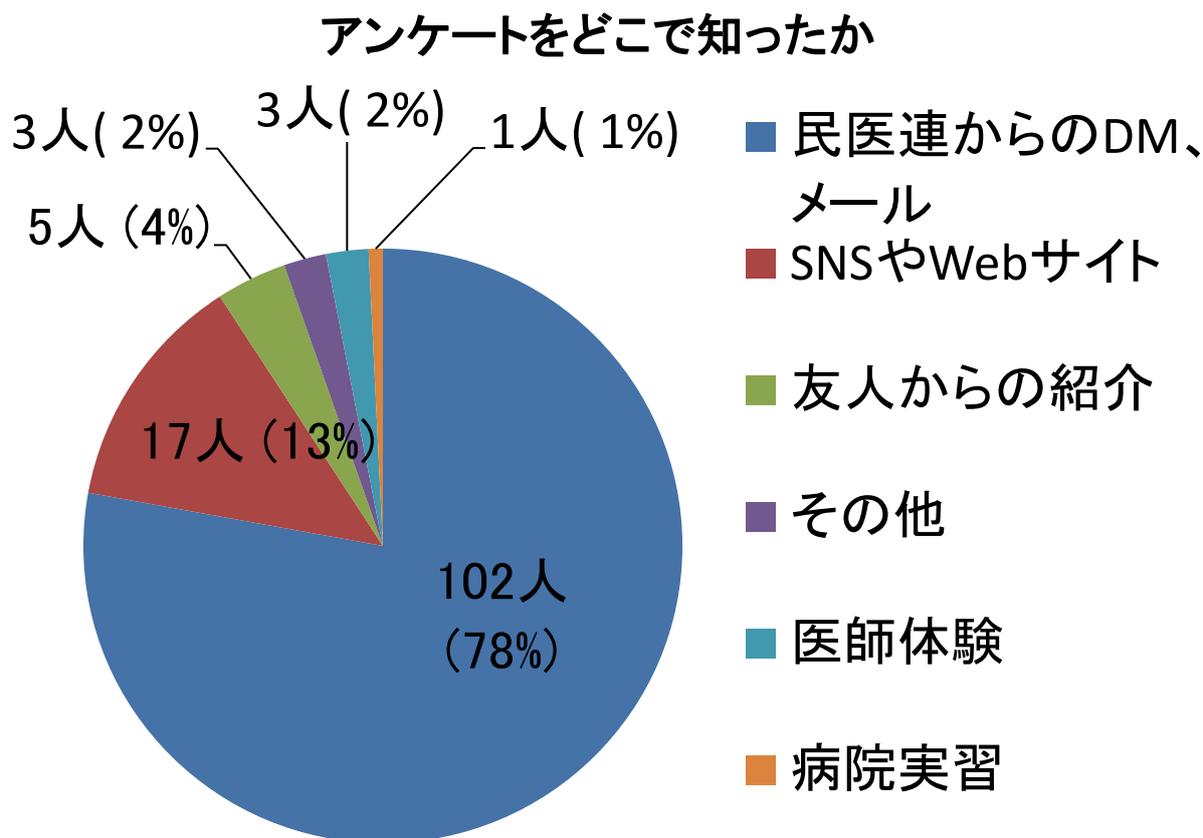
性別



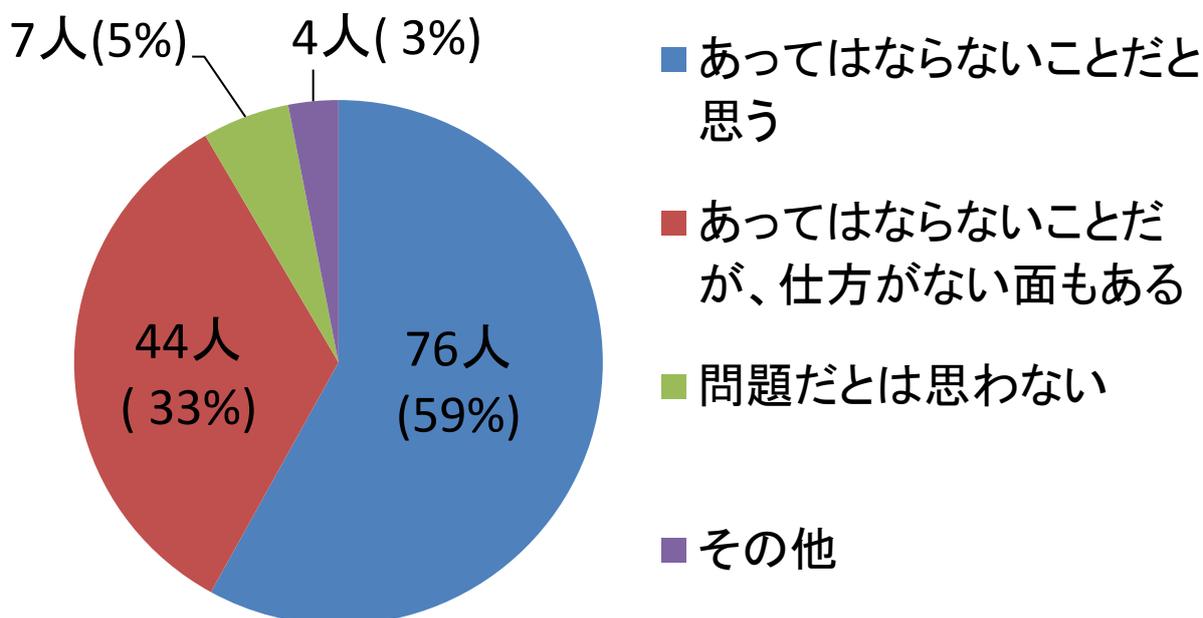
身分



このアンケートをどこで知ったか



1. 東京医大が医学部医学科の一般入試で女性合格者の数を抑えるために、女性受験者の得点を一律に減点していたことについて



その他

- ・事前に通告がないことは問題だと思うが、入学の男女比をある程度コントロールすることは大学側からするとある程度合理的とは言える。コントロールしたい理由が不純だからと言ってコントロールしてはいけないというのも少し話が違ふと思う。(医師：男)
- ・秘密裏にしていたことが問題。(会社員：男)
- ・減点したことに対してあってはならないことであるが、公平感がある方法ならば仕方ない(医学生：男)
- ・募集要項に書いていれば問題ない(医学生：女)

2. 具体的な理由について

「あってはならない事だと思う」と回答した人の具体的な理由（主なもの）

- ・女性という理由だけの減点は明らかにおかしい。医学部に入りたいと勉強している受験生の思いは本当に強いものであるから、悲しさを通り越して怒りを感じる。(医学生：女)
- ・入試での裏工作は、あってはならない。やるならあらかじめ公表すべき。(医学生：女)
- ・ペーパーテストは受験者を公平に評価するということが前提であるはず。この前提が崩れれば、テストをやる意味が無い(医学生：男)
- ・日本国憲法第 14 条「すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、『性別』、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。」に反する。(受験生・浪人生)

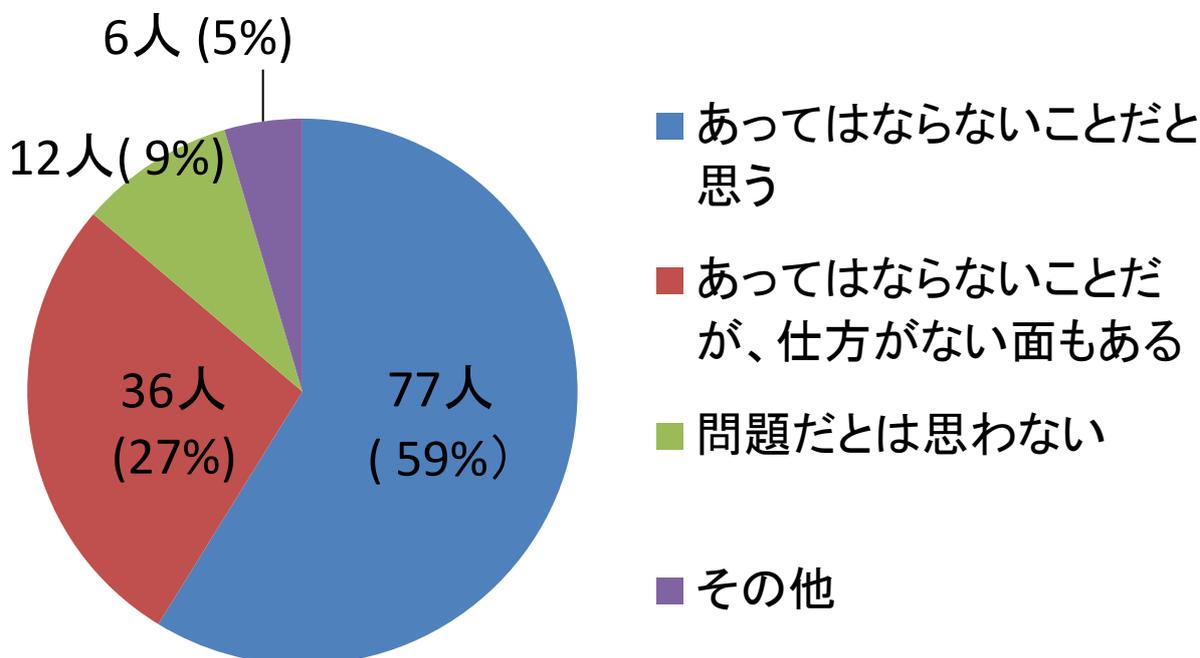
「あってはならないことだが、仕方がない面もある」と回答した人の具体的な理由（主なもの）

- ・私立大学なので(医学生：男)
- ・医師という特別な職業柄、産休等で休み、人手が少なくなると、やはり周囲の医療関係者が困るから。ただ、妊娠をした女医が、当直を行うなど、体に大きな負担をかけて、流産をしたという記事を新聞で見かけたことがあり、それは、医師として本末転倒な事態であると思うから。(高校生：男)
- ・医師というのは性別が理由でどうしても出来ない(相当な筋力を要するなど)という職業ではない。よって入学試験において、男女で差別化を図るのは不当であるし、女性の離職率が高いという理由も、そもそも性別が問題なのではなく労働環境に問題があり本来であれば解決可能なはずである。百歩譲って離職率が高いから入学制限する理由が正しいとして、点数操作を入試の要項に表示しないのは受験者に対する冒涇だと思う。とはいえ、今の労働環境を変えるのは無理と決め込む人が多いので、女性の一律減点に走ってしまう心情は理解できなくもない。(医学生：女)

「問題とは思わない」と回答した人の具体的な理由（主なもの）

- ・妥当な判断だと思われるし、赤本に書いてあるほどの常識だから。(医学生：女)
- ・私立だから(医学生：男)
- ・医学部ならどこもやっているし、その結果合格点や合格者などが非公開と書いてあるのがほとんど。医学部受験を、あまり知らない人からしたら大問題だとは思いますが自分にとってはなんでそんなに騒ぐの？と思う(医学生：男子)

3. 3浪以上の受験生に対して国家試験の合格率が低いことを理由に減点していたことについて



その他

- ・過去の東京医大のデータを遡って検証しなければなんとも言えない。(医師：男)
- ・秘密にしたのが問題。(会社員：男)
- ・募集要項に書いていけば問題ない(医学生：女)
- ・浪人した理由によっては仕方がない(医学生：女)
- ・なんとも言えない(高校生：女)
- ・これも公平感がない。公平感をもたせつつ行うのは仕方がない(医学生：男)

4. 具体的な理由について

「あつてはならない事だと思う」と回答した人の具体的な理由（主なもの）

- ・それなら事前に公表すべき(医学生：男)
- ・あくまで合格率が低いのは傾向であり、努力で解決できる問題であると思うから。(高校生：男)
- ・国家試験の合格率を気にするなら、大学での教育を充実させれば良い(高校生：男)
- ・浪人してるかどうかは医師としての資質に全く関与しないことだと思うため(医学生：男)
- ・三浪になった人にはそれぞれの理由があつて一律に差別すべきではない。国試合格率が低いのは大学の教育のせい。(医学生：女)
- ・浪人年数によらず学科試験の点数で評価すべきである。多浪というだけで努力した1年を無下に扱っていい理由にはならない。また多浪であっても学科試験の点数が高ければそれはすなわち努力すれば国試も受かるとの証明である。(医学生：女)
- ・学ぶ権利は保障されているべき。性別や出身地、身体の特徴など何の理由があつても差別されてはならない。(医学生：女)

「あってはならないことだが、仕方がない面もある」と回答した人の具体的な理由（主なもの）

- ・私も再受験生だが、年齢差別などは東京医大だけでなく他の大学でもあると思う。特に私大では顕著にあると聞いたことがある。（医学生：男）
- ・私立大学なのでどんな生徒をとろうと自由（医学生：女）
- ・多浪の人が留年しやすいことが多い気がするし、うちの大学もそんな気がする（医学生：女）
- ・多浪と国試合格率に関係が見られるため、大学側が多浪を避けることは、東京医大に限らず他の大学でもあることである。よって、受験者が暗黙の了解で医学部を探すのは常識となっている。私の予想としては、問題を回収する大学ほどその傾向が強いのではと勘ぐる。（医学生：女）

「問題とは思わない」と回答した人の具体的な理由（主なもの）

- ・留年率や国家試験合格率が低いのは明らかであるから。（医学生：女）
- ・多浪を美化する風潮の方が問題あるため（医学生：男）
- ・私立だから（医学生：男）

今回のアンケートの設問は、選択肢を選んでもらう回答欄と、それぞれの回答を選んだ理由について自由記述方式の回答欄を設けたのですが、予想に反して自由記載欄にも多くの意見が寄せられました。

その中で代表的なものを一部掲載させていただきましたが、すべての回答を掲載すると膨大になるため、いただいた意見を大まかにカテゴリ化した結果、以下のような意見に分類することができました。

女性受験者の得点を一律に減点していたことについて

「あってはならないこと」と回答した人が書いた意見を分類した結果

- ・試験の公平性が失われている
- ・公表せずに行ったことが問題
- ・性別によって差別されるのはおかしい
- ・論じるまでもなく当然のこと

※特徴的な回答として、複数の方から日本国憲法 14 条の条文「すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。」を根拠に、今回の件はあってはならないという意見もありました。

「あってはならないが、仕方がない面もある」と答えた人が書いた意見を分類した結果

- ・女性は男性と比べてハンディがある
- ・私立大学だから

※今回「仕方がない面もある」と答えた方の中で、理由を書いていた方のほぼ全員が「女性は男性と比べてハンディがある」という趣旨の回答でした。私立大学であることを理由に挙げた人は 1 名でした。

「問題ない」と答えた方が書いた意見を分類した結果

- ・私立大学だから
- ・当然のこと
- ・どこでもやっているから

3 浪以上の受験生に対して国家試験の合格率が低いことを理由に減点していたことについて

「あってはならないこと」と回答した人が書いた意見を分類した結果

- ・試験の公平性が失われている
- ・公表せずに行ったことが問題
- ・多浪によって差別されるのはおかしい
- ・理由に妥当性を感じない
- ・学ぶ権利が侵害されている

※理由に妥当性を感じないという意見の中には、多浪生が劣っているとは思わないという意見や、国家試験の合格率は大学の教育の責任であるなどの意見がありました

「あってはならないが、仕方がない面もある」と答えた人が書いた意見を分類した結果

- ・現実に行われていることなので（仕方がない）
- ・私立大学だから
- ・理由に妥当性がある（多浪人生は劣っている面がある）
- ・公表せずに行ったことが問題

※この中では「理由に妥当性がある」という趣旨の回答をした人が多く、多浪生が実際に大学で苦勞しているから、一般的に多浪生が国家試験の合格率が低いからなどの理由を挙げる人がいました

「問題ない」と答えた方が書いた意見を分類した結果

- ・私立大学だから
- ・理由に妥当性がある（多浪生は劣っている面がある）

<まとめ>

今回のアンケートは、12日間という短期間の取り組みであったにもかかわらず、130名を超える方からの回答を得ることができました。回答者の多くは医学生、高校生で、浪人生・受験生、現役の医師からの回答もいただきました。改めてアンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

今回、この問題が発覚するとマスコミは連日大きく取り上げました。それは、今回の不正が大学入試における国民の常識とかけ離れた行為であったからです。

それは、大学側もそのことを理解していたがゆえに秘密裏に行っていたと考えられます。

今回の問題がマスコミに取り上げられる中で医療関係者を中心に「あってはならないことだが、仕方がない面もある」というような声もありました。

また、当事者である受験生からは怒りや失望の声があがり、大学に対して裁判を起こしたり、不合格になった受験生が実名で自らの試験に関する情報開示を求める動きがでています。

そこで、この問題を単に、入試の不正ということだけでなく、背景に何があり、何が問題なのかを皆さん、ともに考えていくためにアンケートを実施しました。

アンケートでは、「女子学生」「多浪生」いずれの設問に対しても6割近くの方が「あってはならないこと」と回答、意見として「性別や浪人年数によって差別することはおかしい」、「試験の公平性が奪われている」などの意見が多数寄せられました。

一方で、一般の国民に比べて医療現場や医療をめぐる知識や、興味関心が高いと思われる医学生や受

験生、医療従事者が回答者の多数を占める今回のアンケートで「あってはならないことだが仕方がない面もある」や「問題とは思わない」と回答した人の合計がそれぞれの設問に対して3割を超えているということは、単純に「あってはならないこと」で片づけられない現実が、医学部内部や医療現場にあることも示していると言えるのではないのでしょうか。

アンケートでは、女性に対する入試不正について「仕方がない面もある」と回答した方の多くは、女性にはハンディがあることを理由に挙げていましたが、その背景にはハンディを許容できない、主に医師不足を原因とする医師労働の過酷さを指摘する声もあります。

厚生労働省もこの過酷な医師労働の是正に向け2017年8月から今年9月まで間で10回にわたり「医師の働き方改革に関する検討会」を開き医師労働の在り方についての検討を行っています。

もし医師不足を黙認し、その結果女性医師の数を制限することを容認するならば、根本原因である医師不足や医師労働の過酷さを放置することになり、その弊害は国民全体に及びます。

今回のアンケート結果を通じて、今後もこの問題を皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。